

授業科目 眼科薬理学 I

【担当教員名】 中村 桂三 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 薬剤がどのように作用するのかを通して生体の恒常性維持機構と病気、さらに薬剤による治療との関連について学習し、視能訓練士に必要な薬理学の基礎的知識を身につけることを目的とする。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 自律神経作動薬を理解できる 2. 眼科用剤の知識を理解できる 3. 薬剤の副作用を理解できる 4. 眼科治療薬の種類を説明できる 5. 正しい点眼方法を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	自律神経作動薬 1 自律神経とは			1	講義
2	自律神経作動薬 2 二重神経支配			1	講義
3	自律神経作動薬 3 神経伝達物質			1	講義
4	自律神経作動薬 4 副交感神経作動薬 副交感神経遮断薬			1	講義
5	自律神経作動薬 5 交感神経作動薬 交感神経遮断薬			1	講義
6	自律神経作動薬 6 点眼試験			1	講義
7	自律神経作動薬 7 まとめ			1	講義
8	催眠薬、局所麻酔薬			2	講義
9	薬剤の投与方法、管理と取扱い			2	講義
10	薬剤の副作用 1 中毒 ショック			3	講義
11	薬剤の副作用 2 副腎皮質ステロイド			3	講義
12	薬剤の副作用 3 耐性と院内感染			3	講義
13	医薬品による健康被害			3	講義
14	眼科治療薬の種類			4	講義
15	点眼指導			5	一部演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫 他	文光堂	2011・18,000円＋税
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験、授業態度を総合して評価する。			【履修上の留意点】		